

Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門東地域第 4 戦最上川大会

■開催日：8月4日～5日

■天候：曇のち雨 ■参加台数：26台

決勝での巻き返しを期すも豪雨中止に！ 木下藍斗が6位入賞を飾る！！

全日本カート選手権 FS125 部門東地域第 4 戦最上川大会が、8月4日～5日の2日間、山形県・カートソレイユ最上川で開催された。これまでの3戦を関東で転戦してきた東地域だが、第4戦、第5戦は最上川、菅生と東北連戦となる。山形県の日本海近くに位置するカートソレイユ最上川は、長いストレートとタイトなヘアピンが特徴の庄内町営カートコースで、その独特のレイアウトから地元勢が強いことでも知られている。

Time Trial/Qualifying Heat

26台が参加したタイムトライアルは2組に分かれて行われ、木下藍斗、山中秀馬ともに先に出走するA組となった。午後から天候が崩れるという予報があるものの、タイムトライアルが始まる時にはまだ降雨はなく、路面はドライコンディションを維持していた。木下、山中共にコースオープンと同時に出走し、計測開始直後から積極的にアタックを繰り返す。序盤は山中が電光掲示板トップに表示されるなど、順調にタイムアップを果たしていく。しかし、終盤になると集団の中での位置取りがうまくいかず、山中、木下共にタイムアップを果たせず、木下がA組6位、山中は7位に終わる。B組のアタック後の総合結果では、木下が11位、山中が12位となった。

続いて行われた予選ヒートだが、全日本カート選手権 FS125 の2クラス前に行われたFP-Jrカデットのローリング開始後に強い雨が降り、一時中断となる。そのため、スケジュールがやや



後倒しになり、FS125は当初の予定より30分ほど遅れた12時スタートとなった。

その頃には、時折降る強い雨によりコースは完全にウェットコンディションとなり、全車がレインタイヤを装着しての出走となる。しかし、スタートすると雨脚は弱まり、コース上の水量も減っていく。その中、順調に順位を挽回する木下は10周目には8番手まで上がり、さらに上位進出を狙っていく。一方の山中は、このコースでの初めてのレインコンディションもあり、キャブセットがうまく合わずにペースが上げられないものの粘り強く走行を続ける。

木下は、終盤に6番手の選手を追い差を縮めるものの、7位でフィニッシュ。しかし上位にペナルティがあったため6位に繰り上がった。一方、山中は18位でフィニッシュしたものの、スタート直後の接触によりフロントフェアリングが脱落し、10秒加算のペナルティが課せられ22位となった。両者とも、予選結果を受けて決勝への作戦を考え、巻き返しを期していた。

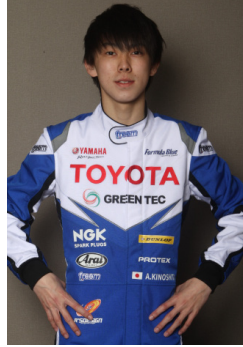


Final Heat

午後になると天候が徐々に悪化していく。それでも最初の決勝ヒートである地方カート選手権 FP3、ジュニアカート選手権のFP-Jrカデットはレースを消化したが、その後のFP-Jrクラスの決勝ローリング中に雨脚が強まり、レースはスタート前に赤旗で止められる。その後、天候の回復を待ったが、隣接する酒田市に大雨洪水警報が出され回復の兆しが見られないことから全日本 FS125 決勝は中止とされ、予選ヒート成績を以って決勝結果成績とされた。なお、シリーズポイントの取り扱い、全日本カート選手権統一規則第43条表a②に定める予選結果成績に付す得点、及び表a①に定める決勝結果成績に付す得点を付与することとされた。



30 Formula Blue チーム KBF



木下 藍斗 (チーム KBF / 神奈川県出身 / 17 歳)

ドライコンディションでの前日練習でも調子はあまり良くなかったのですが、タイムトライアルではうまくアタックラップがとれてグループ 6 位、総合 11 位になりました。予選は雨が降ったため、大まかにセッティングを合わせて出走しました。今シーズン、スタートではアクシデントが多かったので、その点を念頭に 1 周目は丁寧に走りました。それからはペースが良かったので、全体でもトップレベルのタイムで走れました。決勝は予選の反省点を改善して走ろうと思っていたので、雨で中止となってしまい残念です。タイムトライアルでもっとタイムを出していれば、予選でもトップ争いできたと思います。次戦の SUGO は勝つしかないと思っているので、決勝に合わせてレースを組み立てるように頑張っていきたいです。

チーム代表：柳沢 和広【コジマブレンファクトリー】



今回は、タイムトライアルこそ今ひとつでしたが予選ヒートで 6 位まで上がりましたし、決勝も順位を上げていけるだろうという手応えもありましたので、良かったと思います。今までは決勝で調子が良くないパターンが多かったのですが、今回予選までの流れはよく、尻上がりに調子を上げていく、今までと違う展開を見せてくれましたし、急なウェットにもうまく対応していました。

あと 2 戦、本来の持ち味であるスピードを決勝まで続けてもらえることを期待しています

50 Formula Blue BEMAX



山中 秀馬 (BEMAX / 茨城県出身 / 16 歳)

予選 22 位だったので、残念でした。予選では序盤にキャブセットが合わなくて遅れてしまい、後半もペースが上げることができず、順位を挽回できませんでした。決勝で上位進出を期していましたが、中止になってしまい残念です。次回の SUGO も全日本カート選手権では走ったことがないコースですが、しっかり練習して勝てるように取り組みたいと思います。

チーム代表：小野尾 司【BEMAX RACING】



ドライバーも初めてのコース、初めての雨で、模索している間に終わってしまったのが正直なところですが、決勝で挽回できればと思っていましたが、中止になってしまい不完全燃焼で、また振り出しに戻ってしまったように感じます。ドライバーの経験の少なさ、チームとしてもこのコースでの全日本カート選手権の経験がなかったことで、うまく送り出すことができませんでした。

次戦 SUGO は全国大会でも走っていますし、雨も含めどのコンディションでも対応できるように頑張ります。

全日本カート選手権東地域第 4 戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	37	大木 一輝	KP BUZZ	44.773 ④	①
2	12	高口 大将	Drago Corse	44.756 ②	②
3	77	渡会 太一	K.SPEED WIN	44.825 ⑥	③
6	30	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	44.920 ⑪	⑥
22	50	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	44.977 ⑫	⑫

全日本カート選手権東地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	高口 大将	Drago Corse	109
2	大木 一輝	KP-BUZZ	104
3	渡会 太一	K.SPEED WIN	94
9	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	45
10	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	44

※ポイントランキングは暫定です。正式なランキングは JAF より発表されます。

EVENT CALENDAR

	East	Rd.1 22/Apr. MOTEGI	Rd.2 3/Jun. HONJO	Rd.3 1/Jul MOBARA	Rd.4 5/Aug. MOGAMIGAWA	Rd.5 9/Sep. SUGO	FINAL 18/Nov. SUZUKA
West		1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE	